

「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた取組状況について

1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療の提供や医療人材の育成等の機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」（新病院）の整備に向け、令和5年9月に策定した「高度医療・人材育成拠点基本計画」に基づく新病院の医療機能や施設整備等に関する取組状況等について報告する。

2 現状・背景

- (1) 高齢化に伴って、医療ニーズが高まる一方で、労働力人口が減少し、医療を支える人的資源が縮小するとともに、多数の症例や研修体制が充実している大都市圏の病院に若手医師や研修医の集中が加速することで、県内の医師不足が顕在化することが見込まれる。
- (2) 中山間地域においては、地方の基幹病院の医師不足により、サービス供給停止・縮小を余儀なくされ、都市部に比べてより速く、医療基盤の維持が困難になることが予想される。

【新病院開院までの流れ】 ※ スケジュールは現時点の想定

拠点ビジョン → 基本構想 → 基本計画 → **基本設計** → 実施設計 → 建設工事 → 開院
2022年3月 2022年11月 2023年9月 2024～2026年 2026～2030年 2030年

3 概要

(1) 対象者

県民、医療関係者等

(2) 実施内容（取組状況）

ア 新病院開設準備委員会

新病院の開院に向けて、高度医療・人材育成拠点基本計画を具体化するため、病院の設計や医療機能、人材育成の方針等を検討する。

（構成員） 県立広島病院、JR 広島病院、中電病院、広島がん高精度放射線治療センター、広島大学病院、府中市、安芸太田町、広島市、広島県

・第2回委員会（令和6年5月17日開催）

- 【主な議題】
- ・新病院の設計と条件・ゾーニング
 - ・新病院の医療機能と病院間連携に関する検討の方向性
 - ・新病院の医療情報システムの全体像等について

【主な意見】

区分	内容
設計	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>多床室から個室への改装など、将来的な機能転換への対応も想定して、一定程度可変性のある設計を検討すべき。</u> ・ 新興感染症などによるパンデミック時には、新病院は中心的役割を担いながら、高度医療の継続も求められる。感染管理を確実に行える ICU 等の整備も重要である。
医療機能・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新病院の理念は高度急性期医療に特化することであり、サブアキュート機能を担う地域の医療機関との円滑な連携が求められる。 ・ 新病院が備えるべき医療機能により、各診療科の規模は大きく影響を受ける。地域の医療機関との連携の仕方により、新病院の仕様も変わる。 ・ <u>広島市内には他にも大規模病院が多くある。将来の医療需要の変化を見越して、今から各病院の役割分担を検討していくべきではないか。</u>
人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>新病院の機能は、統合する3病院よりも更に高度急性期にシフトする。高度急性期を担う医師や看護師等の人材確保が重要。</u>
医療DX	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療DXの取組は、国の動向も見ながら進めてほしい。医療情報の共有はもちろん、新病院は医療DXの先頭集団で頑張ってもらいたい。

設計やゾーニング、医療情報システムの方向性等について上記意見を踏まえて、引き続き検討を進める。

イ 地域医療体制確保検討会議

<p>高度医療・人材育成拠点基本計画に位置づける「地域医療体制の確保」に向けて、医師配置・循環の仕組みや地域医療ネットワークの構築等について検討する。</p> <p>(構成員) 広島大学・広島大学病院、広島県医師会、北広島町雄鹿原診療所、備北メディカルネットワーク、広島市立北部医療センター</p>

・第1回会議（令和6年5月15日開催）

- 【主な議題】
- ・ 医師配置・循環の仕組みの具体化に向けた課題
 - ・ 今後の検討事項について

【主な意見】

区分	内容
医師配置・循環の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治医科大学卒業医師の配置予定などについて、県と情報共有することは、地域に医師を派遣している大学として重要視している。 ・ <u>今後整備する医師配置検討委員会において、地域のニーズを集約し、最適な医師配置を調整する仕組みを構築するためには、大学や医師会、地域の医療機関など関係者が協力・分担することが重要である。</u>
地域医療ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、ネットワーク構築に取り組む圏域にとって、先行事例である備北圏域や広島圏域北西部のモデルは参考になる部分が多い。

医師配置検討委員会の構成、地域の意見の集約方法の具体化等について、引き続き検討を進める。

ウ 高度医療・人材育成拠点に関する県民公開セミナー（新病院セミナー）

高度医療・人材育成拠点構想について、県民の理解促進及び機運醸成を図るため、医療再編や新病院に関連するテーマに基づき、大学講師等の講演やパネルディスカッションによるセミナーを開催する。

（主催）広島県（共催）一般社団法人広島県医師会、株式会社中国新聞社

【日時】令和6年8月4日（日）13時～16時

【会場】広島県医師会館ホール（広島市東区二葉の里3丁目2番3号）

【内容】※ Web視聴可（YouTube 配信）

テーマ	これからの高齢者医療 ～「治す」から「癒す・支える」医療へ～
県の取組説明	渡部 滋（広島県健康福祉局 医療機能強化担当部長）
基調講演	板本 敏行（県立広島病院 院長）
講演	大下 智彦（呉医療センター脳神経内科 科長） 小田 登（広島大学病院循環器内科 講師） 庄司 剛士（広島大学大学院人工関節・生体材料学 助教） 大森 慶太郎（広島大学病院感染症科 診療講師） 上田 貴代（厚生労働省 老人保健課 高齢者リハビリテーション推進官）
パネルディスカッション	総合司会：古川 善也（広島赤十字・原爆病院 病院長） パネリスト：各講演者

※敬称略

【申込方法】（会場参加のみ、Web視聴は申込不要）（6/20（木）11:00 公開予定）

https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18304

県ホームページ（県民公開セミナー）掲載の申込フォーム又はFAXから申込みが可能。参加申込と合わせて質問・意見を受け付ける。



(3) 予算額（一部国庫）

令和6年度当初予算額 1,218,107 千円（債務負担行為額 19,919,000 千円）

(4) その他（広島県HP掲載）

ア 高度医療・人材育成拠点の整備について

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/276/koudoiryou-jinzaiikuseikyoten.html>

（※高度医療・人材育成拠点基本計画や基本構想、各種会議資料などを掲載）



イ 高度医療・人材育成拠点に関する県民公開セミナー（新病院セミナー）について

（6/20（木）11:00 公開予定）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/koudoiryou-jinzai/koudoiryou-jinzaiikuseikyoten-seminar2024-1st.html>

（※県民公開セミナーにおける最新医療に関する講演や県の基本構想に関する説明動画、県民からの質疑応答などを掲載）

